福剣連
第82号
居合道だより

第 82 号　平成２５年５月１日発行
発行：　福岡県剣道連盟居合道部
URL：　http://riai.info/
発行人　井手友太
〒819-1132
糸島市有田 36 番地 -1
TEL:092-322-0847

はじめに

ずいぶん以前に師匠から聞いた話だが、かって剣道、居合道、杖道の三道範士だったＮ先生は、他県に住んでいるお孫さんが小学校に入学される時、わざわざ出向いて、その県内の有名な少年剣道道場を視察してまわられた。

全国大会等で優勝経験のある道場を含め、名だたる道場を見て回られたが、どこへ行っても「ダメだ」としか言われなかった。そして何回目かの視察の時、ある道場を見て初めて「ここが良い」とおっしゃったそうである。

県下でも特に有名というわけではなく、強豪道場でもない。同伴したご子息が、どこが良いのかといぶかしく思って聞いてみると「他の道場は勝つための稽古ばかりしている。小手先の剣道をやっている。しかしここは基本に忠実な稽古をしている。こうでないと本物にはならない。」とおっしゃったそうである。

Ｎ先生の弟子だった筆者の師匠は、かって少年剣道でＯ君をいつも大将に据えた。
身体が大きかったこともあるが、正しい構えと打ち込みをする少年だった。
しかし、だからこそ最初のうちは、試合ではなかなか思ったようには勝てなかった。肝心なときに、大将が引き分けるか、最低でも一本負けなら団体優勝出来るという場面で、しばしば二本負けするのであった。大きく振りかぶって飛び込むと、必ずと言っていいほど出小手や抜き胴でやられてしまうのである。

それでも次の試合では、やっぱり大将に据え続けた。「Ｏ君は今は勝てなくても良い。彼は本物の剣道家になれる器だから」と言っていた。

指導者として、当面の勝ち負けは二の次にして、将来的展望に立った指導をするのは本当に勇気が要る。分かっていても中々出来るものではない。つい目先の勝利を優先して指導してしまうことになる。

指導者は指導を受ける者の将来を見据えて、強い信念と愛情を持たなければならないということだ。　それから２０数年後、Ｏ少年は立派な社会人となり、今年は剣道七段、居合道五段に挑戦する。

剣道大家Ｎ先生と筆者の師匠、二人の少年剣道指導の共通点は、返されようが抜かれようが、正面から大きく振りかぶって身体ごと打ち切る飛び込み面だった。

居合道においても全くその通りだと思う次第である。

蛇足だが、かって打ち込み台役の筆者に向かって、一心に竹刀を振るっていた少年は、２０数年を経た今、筆者のただ一人の剣道の師匠である。

主な出来事

４月１４日　　第４３回福岡県剣道連盟武道祭　　福岡武道館

４，５月の予定

５，６月の予定

５月２日～５日	第１０９回全日本剣道演武大会	京都市
５月３日	八段審査会　　称号審査会	京都市
５月１９日	県居合道部理事会・総会	大野城北 コミュニティーセンター
６月９日	福岡県居合道講習会・級審査会	アクシオン福岡 多目的アリーナ
６月１６日	第４６回福岡県居合道大会	福岡武道館

その他

事務局からのお願い

福岡県剣道連盟居合道部の最大の行事である福岡県居合道大会には各団体とも積極的に多数の参加をお願いします。